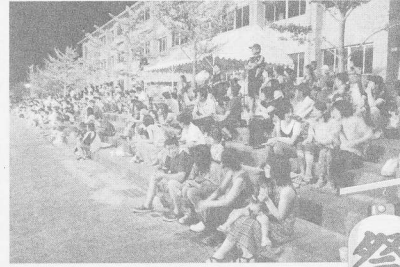


ほたる

平成23年9月発行
中ノ郷ふるさとづくり協議会
事務局：鳥取市覚寺118
中ノ郷地区公民館内
Tel:0857-21-5393

中ノ郷地区納涼まつりを開催しました

会場のおちらこちら
で新しい出会いや絆
が見受けられました。



七月三十日(土) 中ノ郷地区恒例の「第十七回中ノ郷地区納涼まつり」が、地区公民館駐車場、小学校体育館、グラウンドを会場に開催されました。

午前中の雨で開催が心配されましたが、夕方には天候も回復し、お楽しみ券配布前の午後五時半過ぎから長蛇の列ができるほど、多くの人出で賑わいました。会場には綿菓子やおでん、元氣井など食べ物コーナーの他、夏の風物詩であるお化け屋敷、金魚すくい、ヨーヨー釣り、輪投げ、ホールインワンゲーム、交通安全クイズ、〇×クイズなどがあり、午後七時には既に景品がなくなってしまう程、大盛況でした。

納涼祭後半には、多くの小学生たちの中ノ郷音頭、しゃんしゃん傘踊りなどが披露され、子ども達の一生懸命な姿に、更に会場が盛り上がりました。中原実行委員長の挨拶終了後、四十九連発、五十連発の花火を打ち上げて約千四百人の観客を魅了し平成二十三年度中ノ郷地区納涼まつりは華やかに幕を閉じました。

(西澤)

地域づくり懇談会開く

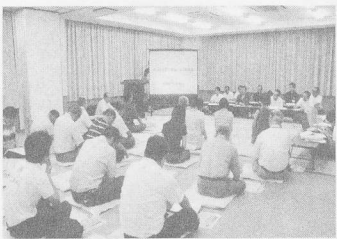
地域の課題を市長に要望

七月二十六日午後七時から地区公民館で地区住民二十三名が出席して、竹内功鳥取市長ほか市幹部と地域の課題について次の二つの要望をし、意見交換をしました。

一、市北部の防災拠点(旧鳥取警察署の跡地に設け、災害に対処する各部署を集結させ、食糧の備蓄などの機能も備えてこの地区の住民の安全を確保できる場所とする。

二、中ノ郷ふるさとづくり協議会の目標としている「伝統文化の継承・発展・創造」の事業推進において子ども達のふるさとを愛する心を育て、心の柱となる伝統文化を学習し実践する拠点を中ノ郷地区に設置する。

(下澤)



2年に1回開催される鳥取市の地域づくり懇談会



「しょうから連」「やんちゃ連」の小学生たちとサポーター

しゃんしゃん祭りに九十名が参加

今年も元気いっぱい

踊りました

春から準備を始めるしゃんしゃん傘踊りは、地子連が関わる事業の中で、最も大きくて、緊張する行事です。今年も、ひとつの連の最高人数が五十人と制限される中、児童の募集を最初に行い、九十人の応募があったことで、二年連続地域の人に踊り手の募集が出来なくなってしまいました。そのため、子どもたちには、常に「地域を代表して祭りに参加させてもらっていること」の意識付けをしたと、さまざまなかかけや、地子連なりの工夫を重ねました。

例年、高年クラブさんにお世話になっている傘修理は、今年は児童と保護者での取り組みとし、二回の修理会をしました。練習が始まってからは、毎回、その日に見学にお越し頂いた先生や地域の方にマイクを向け、励ましの言葉を頂くようにして、地域代表としての心構えを意識するようにしました。ひょうきん者の多い六年生は「しょうから連」、初めて参加する五年生は「やんちゃ連」として出場です。



踊り始めの雨には、皆が自分たちで修理した傘を案じ、どうなることかと思いましたが、ほどこなく止み、少し涼しくなった若桜街道を元気に踊ることが出来ました。

大きな掛け声が出ています！ 楽しげな笑い顔が見えます。そうですね！これが中ノ郷の姿です。進行係として連と共に歩きながら、私は誇らしい気持ちでいっぱいでした。幸せな時間でした。中ノ郷連の子ども連、よく頑張りました。楽しい時間をありがとうございました。そして、ご支援ご協力くださった地域の方々、先生、保護者の皆様に心から感謝いたします。

(地子連会長 浜田朋子)

編集後記

ことのほか暑かった今年の夏も九月に入って、少し和らぎました。今年のしゃんしゃん祭りには、九十人の児童が参加、暑さを吹き飛ばす元気な踊りを見せてくれました。

地区納涼まつりにも、たくさんの方に参加をして頂きました。東日本大震災で地域の絆を見直す動きが広がっています。

地域の皆さんが支えるさまざまな取り組みが、絆を深めています。

ホームページもご覧ください。
<http://chikki.city.tottori.tottori.jp/nakago-1>をクリックして下さい。
 (市原)

今後の行事予定

- *中ノ郷まつり
十月二十二(土)
～二十三日(日)
- *ふれあい
健康ウォーキング
十一月十二日(土)

